

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902280		
法人名	有限会社 環境設備		
事業所名	グループホーム プランタンⅢ (西ユニット)		
所在地	旭川市9条通16丁目24		
自己評価作成日	平成22年12月15日	評価結果市町村受理日	平成23年3月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902280&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902280&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3番地北1条ビル3階
訪問調査日	平成23年1月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作成し、ホールの見やすい位置に掲げ、常に意識できるようにしており、理念復唱による職員の周知・実践を行っている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会長さんが旭川に不在な事が多いためか、地域活動はほとんど無いものの、近隣の学校や商店・薬局とは交流があり、日常的にお付き合い頂いている。外出散歩時、近所の方々から声を掛けていただくことが多くなり、夏にはそれぞれ収穫した野菜等の物々交換をしたこともあった。今後はより具体的に地域との連携方法を検討していきたい		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域交流を協議したいと考えているが、実現には至っていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議を行い、家族の考えや第三者の意見等を話し合いし、サービス向上に繋げている。前回の目標に掲げていた“イベント日の運営推進会議”は、ホーム5周年祭と同日に開催。ご家族様が参加しやすいように配慮した。今後は地域交流の為に、地域包括の方に参加いただけるよう声掛けしていきたい		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	集団指導・連絡された講習に参加する以外、密に連絡は取れていない。市町村担当者が、運営推進会議やそれ以外にもサービス向上を目指し、行き来できる機会を作っていたのであれば参加したい		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月のミーティングにて、身体拘束廃止について話し合いをし、今以上を目指すように取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記に加え日頃から虐待介護とならないよう職員同士で声かけしあうなど常に心がけを持つようにしている。言葉使いに関しても虐待にならないよう気を付け、このような研修にも参加したい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について研修やミーティングの中で理解を深めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な理解が得られなかった場合、随時な説明をし納得を得ている。解約の際もお互い納得できている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を通じて必ず意見を聴取している。また、面会時にコミュニケーションをとり、お互いに相談し合っている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングの中で運営に関する意見が出たり、参考になる提案に耳を傾けるよう努力し可能な限り反映に務めている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設内の業務でわからない事がなくなるように1つ1つ仕事の役割を変え、確実にできる仕事の幅を拡大している。又、勤続期間・能力に合わせた課題を出し、向上心を養うよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	向後ある研修の告知や今までに参加した研修のまとめをファイルにし、誰もが内容を確認できるようにしている。また、会社内にて年に3回ほどの研修会を設けている。ケアについては、職員同士わからないことは申し送り・指導している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列グループ会社共同での勉強会は年に3回ほど行っており、他事業所との交流機会はあるが、他企業の同業者との交流は少ない。先日研修で地域包括の方と、これから連携していく話し合いができた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員が利用者との信頼関係を築くよう心掛け、日常会話の中での不安や要望をさりげなく聞きだし、安心できる環境を作るよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用希望者の状況を聞くと共に、家族の心配される事や意向等なるべく細かく聴取し、利用者にとって楽しく暮らしていける環境を構築できるよう話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用希望者の状況と希望するサービスを聞く事や、家族等の意向を確認し、適当な支援に沿うように対応している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者同士や職員との共同作業や外出機会の提供等、同じ目線で物事をとらえ、お互い助け合い、協力するよう努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	仕事として支援する反面、家族と同じ立場で物事を考え利用者のために何が必要か・どう対応すべきかを相談し、家族の意向に沿う介護に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の従来の生活や大切にしてきた事を知り、馴染みのある環境をつくれる様に努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他人同士が生活する事で考え方の違いから言い争いになる事も当然あるが、利用者・職員が1つの大きな家族として話し合い・支えあいながら問題を随時解説し、生活できている。また、月に数回はイベントを開催し、交流の場を提供。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了以降でも随時、相談に応じている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者や家族とコミュニケーションを密にとり・相談をし、随時本人の意向を把握できるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に得た情報の他に、ご本人から確認した情報で不明なものについては家族と確認しながら把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員一人一人に分析させ、1ヶ月に1回に全体ミーティングで前回とは違った部分の再確認をし、全スタッフが利用者の状況を把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者が中心となり、介護支援専門員が指導・助言しながら把握した必要な情報を共有し、本人・家族に満足して頂ける介護計画となるよう努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ファイルの個別化にて一人ひとりを把握できるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者・家族の状況を常に職員間にて情報共有をし、意向・要望に沿うように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣にある中学校の学生と利用者の交流の機会を設け、上手く連携できている。ボランティアや警察・消防等の協力を得ながら活動させていただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に計画作成担当者が連携看護師に相談し、判断できない場合は主治医などと連絡・相談しながら支援している。また、状況により往診を頼んでおり、内科・整形外科・歯科・精神科と、往診医を拡大中 連携が取れやすくなりゆとりある支援が可能になってきた		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員同士申し送りをしっかり行うことや、週2.3回医療連携で看護師が、事業所を回る為、アドバイスを受けている。看護師が判断できない（迷う）場合は適当な医師等に相談しながら支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	業務中に、施設スタッフが面会に行き、情報交換や相談に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療処置が必要になった場合は、対処が困難であるが、状態によっては家族・医師・施設スタッフと相談し情報を共有し対応している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルを作成しており、全職員に周知している。また、急変時対応マニュアルの本もすぐに目を通せる場所に保管している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を定期的に行う事によって、実践力を身につけている。向後、地域の協力体制を築いていきたいと考えている。夜間帯を想定しての訓練も実施済み。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を傷つけることのないよう心がけており、一人ひとりの考えを、日ごと（時間ごと）に把握し対応できるようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人の思いや希望を表せるよう、分かりやすい言葉や選択で聴取し、自身の意向や希望している事が出来る様支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	事業所内で危険がないと判断できる範囲で思いのままに生活して頂いている。突発的に外出を希望されれば、できるだけ利用者の意向に添うよう努めているが、1日の中で出来ない場合はお断りしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容は本人の希望される店に行っている。また、化粧品の購入希望があれば対応・アドバイスし、おしゃれを忘れない様な働き掛けを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりのニーズに合わせた食事提供を心掛けている。また日々、下準備・手指消毒・テーブル拭き・下膳など手伝っていただいている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分の摂取状況を確認・記録し、全体を把握している。また、栄養については、固定メニューの導入により、栄養士管理のもと、バランスのとれた食事提供を実現可能となっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日1回は必ず、全体のうがいの促しをしている。また、できない方については、その人の能力に合わせ1日1回の義歯洗浄をし清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合った、排泄リズムを掴み時間的誘導など自立に向けた支援を行っている。必要者には、生活リズムパターンシートを活用し、失禁回数の把握・保清を強化している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者の排便状況を確認し、看護師と相談し対応。又、担当医に状況を伝え、外や廊下の散歩の励行、水運摂取強化、排便コントロールできるよう努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	介助入浴を決めているが、それ以外での希望のある利用者については、人員を考慮し希望に沿えるように努めている。また、入浴の無い日には身体を拭くタオルをホーム側にて毎回用意しており、整容等、出来るだけ自立を促した対応を努めている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	周囲に迷惑をかけない範囲で自由に休息して頂いている。但し、昼夜逆転や足のむくみを懸念し、職員が休息を促す事もある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変化がある場合は連絡しあい、一人一人が責任を持って対応している。就業して間もない職員（把握してない職員）には服薬の支援はさせていない。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や興味のある事を確認し合い、役割や楽しみを持てるよう、最大限支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候に合わせて外出できる時は職員と共に外出している。原則的に1人での外出はお断りさせて頂いているため、希望がでた時は随時対応している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル防止のため、自室での金品の管理はしていない。自室でお金を所持したい利用者は紛失しても施設側としては責任を負えない事を了承して頂いている。必要物品はその方の能力により買物をしていただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同スペースは整理整頓・清潔に努め、廊下には季節に合わせた装飾や、利用者が製作した作品を展示し、明るく過ごしやすい空間になるよう工夫している。又、外出・イベント等思い出の写真を貼っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1人になれる所はないが、食事を食べる座席以外にも共有空間にソファやテーブルを設置し思い思いに過ごせるような工夫をしている。他人に聞かれたくない相談等は事務室で話し合うようしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に協力していただき、本人の好み・馴染みの物・馴染みの家具等で揃え、居室は利用者独自の空間となるよう配慮している。また、定期的な点検・清掃により、より生活しやすい空間を提供出来るよう努めている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個々の能力に合わせての声掛けや促しをしている。また、自立歩などできるよう、必要箇所には手すりを設け、自立できるよう工夫している。		